2024年6月のブルーベリー農園その1

東広島市豊栄町のブルーベリー農 園での農作業はブルーベリーの剪 定をメインに、防草シートを敷き、 草を刈り、切った枝を野焼きした り、農園の見回りをしたりしてい る。作業中に目と耳に入るのは花であったり、突然上を飛んでいくキジであったり、キジやホトトギスの鳴き声であったりする。午後の作業の始めは汗ばむ気温で初夏真っ只中。安芸区の自宅から農園に通っているが国道 2号線が混まなくなったので運転はずいぶん楽になった。



6月1日 (土) ブルーベリー畑でしっかり葉が出てきたネムノキ



同じ畑の草刈りで思わず切らずに残したのは青色の ヤグルマソウ



花壇のバラ「ピース」は切り花にして持ち帰った



6月2日(日)
今年の花壇のフランネルソウは花数が多い



6月3日 (月) 背丈は小さいがまだ先給めるクリムソンクローバー



6月4日 (火) こちらのクリムソンクローバーはツリーの形の穂に 種ができている



6月6日 (木)

ブルーベリーの剪定作業を冬から続けて残り 150 本余 りとなっている。手前の木が剪定後、茂りに茂った向 こう側が剪定前の木



農園の周囲の初夏の景色

① ため池に咲くコウホネ



② 麦畑



③ 田んぼとアザミ



④ 枝をカットしたあとの晩生のブルーベリーの若葉 色の実。夏至を通り越し、あと 50 日余りかけてふ くらみ青く色づくと摘み取る

2024年6月8日

社会福祉法人安芸の郷

理事長 遊川和良

《2024年6月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」の ブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおし ています》

